

# 職員及び登録介護職員の技術・知識向上 の為の研修

公益社団法人 兵庫県聴覚障害者協会

〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町2丁目2番8号 新神戸ビル東館2階

## 助成事業の概要

### 実施目的

当事業所は、介護を必要とされている聴覚障害高齢者に対し、聴覚障害者や手話の出来るヘルパーを派遣し意思疎通をはかり充実した介護サービスの提供を行っています。5割を超える聴覚障害者ヘルパーを含めたヘルパーの人材育成が重要であり、より高度な介護サービスを提供できるように手話通訳者を設置して定期的な研修を開催することが必要とされています。平成29年度は下記の通り5回の研修会を開催することが出来ました。

### 実施時期・実施内容

第1回 平成29年5月13日 「総合事業について」

今年度から本格的に始める。事業内容や制度について理解を深める学習

第2回 平成29年8月26日 「こころの病気を持つ聞こえない人への支援」

心に病を持った利用者に対する支援方法についての学習

第3回 平成29年11月18日 「就労支援センターとも」施設見学

“支援をする”立場から支援の大切さや重要性を学習。また、そこで支援を受けて一生懸命働いている利用者の働き方を見学する。

第4回 平成29年12月6日 「高齢者向けの介護おせち料理を作ろう」

高齢者が食べやすいように調理されたおせち料理の作り方を学習する。

第5回 平成30年2月5日 「緊急時の対応方法・心肺蘇生法」

人工呼吸方法や心臓マッサージ、AEDを使い、緊急時の対応方法や心肺蘇生の学習

## 事業の成果

当事業所の特性として聴覚障害高齢者に聴覚障害壮年者がヘルパーとして介護の手を差し伸べています。より高度な介護サービスを提供できるように定期的な研修会を開催しました。

今年度は、技術面・精神面で経験豊かな講師を迎え、より充実した研修会を開催する事ができました。また、聴覚障害を持つヘルパーの情報保障の手段として、専任の手話通訳士を依頼し、より正確な情報を伝えることができました。

更に、当事業所は兵庫県下全域を対象としているため、研修会の開催地は中部地区である神戸市内に限られてきます。各地に配しているヘルパーの交通費補助金として一部を補助することができ、参加の意欲を高め、参加者の負担を軽減することができました。

個々の研修成果は下記の通りです。

第1回：総合事業についての理解を深めるために企画。平成27年4月に施行され、今年度から本格的に始まりました。具体的にどのような制度か等を学習した。

第2回：利用者の中にも心に病気を持っておられる方がいます。その方達に対する理解や支援方法を深めるために企画。心の病気とは何か。その方達への支援の仕方などを学習しました。

第3回：京都の手話研修センター内にある「就労支援センターとも」を訪問。支援内容は違えど、同じ支援をする立場から支援のアプローチ方法等を学習する。また、そこで働いている様子も見学する。

第4回：高齢者に合わせたおせち料理の調理実習を企画。ヘルパー訪問時間内で調理できるように、食材の切り方や煮方、調理の簡略化等も学習しました。

第5回：緊急時の対応方法や心肺蘇生方法を学ぶために企画。AEDの使い方や人工呼吸の方法を学習する。

事内容に工夫を加えることなど、具体的な学習ができ、今後に生かされる研修になりました。

今年度は、貴団体からの助成金で開催した研修内容を活かし、在宅のろうあ高齢者や重複障害者の豊かな日常を支えるために、日々鍛錬に勤めてまいりたいと思っています。

## 成果の広報、公表

各回の研修内容は、公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会が毎月1回発行する機関紙「ろうあ兵庫」に掲載し広報しています。「ろうあ兵庫」は約900名の会員に配布されます。

購読者からは事業の問い合わせもあり、定期的に高度な研修会を開催している事に信頼を得られています。

## 今後の展開

当事業所の登録ヘルパーは、高齢者に対する介護も行っていますが、高齢ではなくても精神疾患のある聴覚障害の利用者や重複聴覚障害の利用者に対してもヘルパー派遣を行っています。

その為に、第1回で企画した「総合事業」では制度についてより深く学習し、また、第3回で企画した施設見学ではどのような支援を行っているのかを学習することができ、今まで以上に対象者に合った介護サービスが実施できるように努めたいと思います。

また、高齢者や歯が弱っている人に対して、調理提供をする際に限られた時間内で行うことや食